

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年10月3日 (2013.10.3)

【公表番号】特表2013-503218(P2013-503218A)

【公表日】平成25年1月31日 (2013.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2013-005

【出願番号】特願2012-525996(P2012-525996)

【国際特許分類】

C 0 9 D 167/06 (2006.01)

C 0 9 D 4/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 8 J 7/18 (2006.01)

C 0 8 F 283/01 (2006.01)

B 0 5 D 3/06 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 167/06

C 0 9 D 4/00

C 0 9 D 7/12

C 0 8 J 7/18 C E R

C 0 8 J 7/18 C E Z

C 0 8 F 283/01

B 0 5 D 3/06 Z

B 0 5 D 7/24 3 0 2 V

B 0 5 D 7/24 3 0 2 M

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月13日 (2013.8.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

標準条件 ( 2 0 、 1 b a r ) で液体の組成物の被覆剤としての使用において、この組成物が、

a ) - オレフィン性不飽和ポリカルボン酸、ポリオールおよび場合によってはさらなる化合物から構成される、不飽和ポリエステル樹脂、

b ) ビニルエーテル基を有する化合物 ( ビニルエーテルと略す ) 、および

c ) 場合によっては - オレフィン性不飽和ポリカルボン酸であるか、あるいはそのモノエステルまたはジエステル、

を含有し、その際、 a ) から成る - オレフィン性不飽和ポリカルボン酸および場合によっては化合物 c ) の二重結合の合計と、ビニルエーテル b ) の二重結合とのモル比が 1 . 3 : 1 ~ 0 . 8 : 1 であることを特徴とする、前記組成物の使用。

【請求項 2】

液体組成物が、 1 質量 % 未満のスチレンを含有する、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

液体組成物が、 5 質量 % 未満の ( メタ ) アクリルモノマーを含有する、請求項 1 または

2 に記載の使用。

【請求項 4】

不飽和ポリエステル樹脂が、 - オレフィン性不飽和ポリカルボン酸、ポリオールおよび場合によっては飽和ポリカルボン酸および場合によってはモノカルボン酸からなり、かつポリエステル樹脂 1 g あたり 0 ~ 45 mg KOH の酸価を有する、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 5】

ポリエステル樹脂が、 450 ~ 8000 g / mol の数平均分子量  $M_n$  を有する、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 6】

a) 中のポリカルボン酸がマレイン酸であり、かつ化合物 c) がマレイン酸、マレイン酸モノエステルまたはマレイン酸ジエステルである、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 7】

ビニルエーテルが、 500 g / mol 未満のモル質量を有するモノビニルエーテルまたはジビニルエーテルである、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 8】

ビニルエーテルが、少なくとも 1 種のジビニルエーテルであるか、あるいは場合による他のビニルエーテルとの混合物である、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 9】

ビニルエーテルが、脂肪族化合物または脂環式化合物であり、この場合、これはビニルエーテル基および場合による他のエーテル基以外に他の官能基を含有しない、請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 10】

ビニルエーテルの含量が、不飽和ポリエステル樹脂 100 質量部に対して 1 ~ 100 質量部である、請求項 1 から 9 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 11】

液体組成物が、少なくとも 1 種の化合物 c) を含有する、請求項 1 から 10 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 12】

化合物 c) の含量が、不飽和ポリエステル樹脂 100 質量部に対して 1 ~ 20 質量部である、請求項 1 から 11 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 13】

組成物のすべての皮膜形成成分の少なくとも 80 質量%が、不飽和ポリエステル樹脂 a)、ビニルエーテル b) および場合によっては化合物 c) である、請求項 1 から 12 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 14】

組成物が、光開始剤を含有する、請求項 1 から 13 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 15】

組成物が、5 質量%未満の水または有機溶剤を含有する、請求項 1 から 14 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 16】

請求項 1 から 15 までのいずれか 1 項に記載の組成物を、被覆すべき表面上に塗布し、かつ引き続いて硬化をエネルギー光線での照射により実施する、表面を被覆する方法。

【請求項 17】

請求項 16 に記載の方法によって得られる被覆された対象物。

【請求項 18】

a) - オレフィン性不飽和ポリカルボン酸、ポリオールおよび場合によってはさらなる化合物から構成される、不飽和ポリエステル樹脂、

b) ビニルエーテル基を有する化合物（ビニルエーテルと略す）、および  
c) 場合によっては  $\alpha$ -オレフィン性不飽和ポリカルボン酸であるか、あるいはそのモノ  
エステルまたはジエステル、  
を含有し、その際、a) から成る  $\alpha$ -オレフィン性不飽和ポリカルボン酸および場合によ  
っては化合物 c) の二重結合の合計と、ビニルエーテル b) の二重結合とのモル比が 1 .  
3 : 1 ~ 0 . 8 : 1 であることを特徴とする被覆剤。